

認定権者記載欄

様式(イ) - 5 - 1 - ③

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書(イ-③)

平成 年 月 日

安城市長 殿

申請者
住 所
氏 名 印

私は、表に記載する業を営んでいるが、下記のとおり、_____ (注2)が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いします。

記

(表)

※表には、指定業種であって、売上高等の減少が生じている事業が属する業種(日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名)を記載。当該指定業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する指定業種を左上の太枠に記載。

売上高等

(1) 前年の企業全体の売上高等に対する、上記の表に記載した指定業種(以下同じ。)に属する事業の売上高等の減少額等の割合

$$\frac{B-A}{D} \times 100 \quad \text{割合} \quad \%$$

A: 申込時点における最近3か月間の指定業種に属する事業の売上高等 _____ 円
 B: Aの期間に対応する前年の3か月間の指定業種に属する事業の売上高等 _____ 円
 D: Aの期間に対応する前年の3か月間の全体の売上高等 _____ 円

(2) 企業全体の売上高等の減少率

$$\frac{D-C}{D} \times 100 \quad \text{減少率} \quad \%$$

C: Aの期間の全体の売上高等 _____ 円
 D: Aの期間に対応する前年の3か月間の全体の売上高等 _____ 円

(注1) 本様式は、指定業種に属する事業の売上高等の減少が申請者全体の売上高等に相当程度の影響を与えていることによって、申請者全体の売上高等が認定基準を満たす場合に使用する。

(注2) 「販売数量の減少」又は「売上高の減少」等を入れる。

号

平成 年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期間: 平成 年 月 日から平成 年 月 日まで

安城市長 神谷 学 印

売上高比較表

年 月	最近3か月の売上高(円)		年 月	前年同期の売上高(円)	
年 月	指定業種	円	年 月	指定業種	円
	全体	円		全体	円
年 月	指定業種	円	年 月	指定業種	円
	全体	円		全体	円
年 月	指定業種	円	年 月	指定業種	円
	全体	円		全体	円
合計額	指定業種	円	合計額	指定業種	円
	全体	円		全体	円

上記売上高について、相違ありません。

平成 年 月 日

⑨

- ① 認定に使用する売上高については、申込月の前月を含めた連続する3か月を記入すること。ただし、前月の売上高が計算できていない場合があるので、直近3か月の、最も過去の1か月から遡り連続する3か月の売上高を前年同期と比較することができる。それ以前の月の売上高は認定に用いないこと。
- ② 売上高の確認書類として、決算書内の法人事業概況説明書、試算表等毎月の売上が確認できる書類を添付する。なお、試算表等作成していない場合は帳簿の写しを添付すること。